投資環境資料

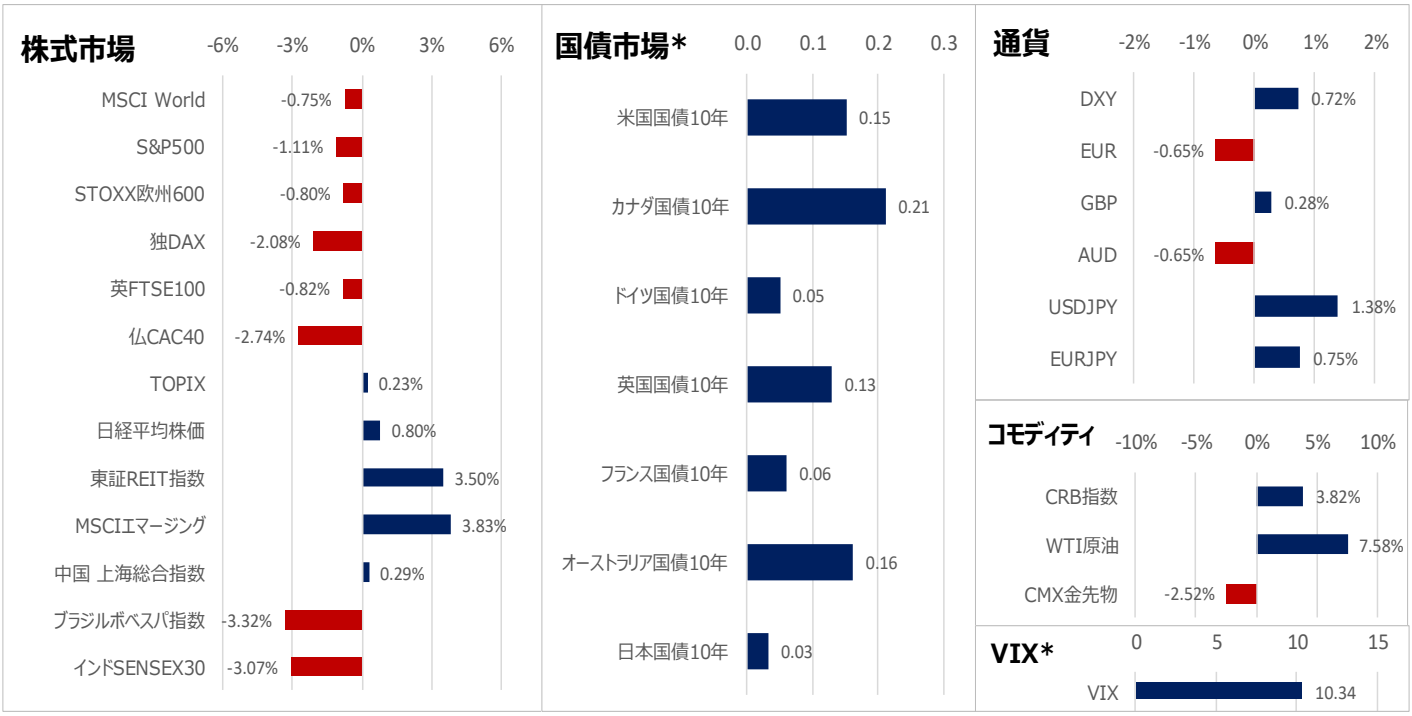
マンスリーレビュー&アウトルック

2021年2月

2021年1月の市場概況

- 新型コロナウイルスワクチン接種の進展や、トリプルブルーによる**経済正常化期待**から世界的に株価は堅調に推移したが、個人主導の**投機的な取引が過熱**し月末にかけ**米国株が急落**、グローバル株も下落に転じた
- バイデン米新政権による財政支出拡大観測と経済正常化の期待、また、**早期テーパリングの懸念**から**米10年国債利回りは1%台**へ上昇、主要国の長期金利も上昇基調をたどり、**社債市場は軟調**に推移
- 米金利の上昇を受け**主要通貨に対し米ドルが反発**。ドル円レートは一時102円台までドル安が進んだが、月末にかけ**104円台**まで上昇
- 協調減産合意や景気見通し改善を受け**原油価格は堅調**、VIX指数は月末に急上昇し、金利上昇とリスク選好の高まりから金価格は軟調

2021年1月（12/31～1/29）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、*は騰落幅

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

株式

プラス要因
- 新型コロナウイルスワクチン普及による感染収束
- 大型追加経済対策の実現
- 感染ピークアウトによる景気見通しの改善

マイナス要因
- 新型コロナウイルスワクチン普及の遅延リスク/行動制限強化
- 投機的取引の過熱
- 金利急騰による株価バリュエーションの水準調整

	2021/1/29	過去1か月	3か月	年初来
MSCI World （現地通貨建て）	8,623.73	-0.75%	15.11%	-0.75%
S&P500	3,714.24	-1.11%	13.59%	-1.11%
STOXX欧州600	395.85	-0.80%	15.62%	-0.80%
独DAX	13,432.87	-2.08%	16.24%	-2.08%
英FTSE100	6,407.46	-0.82%	14.89%	-0.82%
仏CAC40	5,399.21	-2.74%	17.52%	-2.74%
TOPIX	1,808.78	0.23%	14.53%	0.23%
日経平均株価	27,663.39	0.80%	20.40%	0.80%
東証REIT指数	1,846.41	3.50%	12.91%	3.50%
MSCIエマージング（現地通貨建て）	176,690.00	3.83%	18.75%	3.83%
中国 上海総合指数	3,483.07	0.29%	8.02%	0.29%
ブラジルボベスパ指数	115,067.60	-3.32%	22.47%	-3.32%
インドSENSEX30	46,285.77	-3.07%	16.84%	-3.07%

国内株式：米国株が最高値を更新し世界的にリスク選好の動きが強まる中、日経平均は約30年ぶりの高値まで上昇したが、後半には利食い圧力から上値の重い展開となった。投機的売買により米国株が急落し、リスク回避姿勢が高まった月末にかけては、国内株も大幅下落。米国株の乱高下に一喜一憂する不安定な相場は当面続くと見られるが、業績改善やワクチン普及などファンダメンタルズの改善に下支えされ、市場心理の落ち着きとともに、国内株の上昇相場は継続する見通し。

米国株式：大規模な追加経済対策による経済正常化期待から、米国株は高値更新を繰り返す展開。リスク選好の動きが継続して下旬にかけても過去最高値を更新したが、月末には、投機的な取引が過熱し株価が急落、NYダウは30,000ドルを割り込んで月を終えた。個人投資家主導の投機的取引により値動きの荒い展開は目先続こうが、足元の好調な企業業績や、積極的な金融・財政政策の効果から再び最高値を目指す堅調な展開を見込む。

欧州株式：欧州の新規感染者数は増加し行動制限長期化が懸念されたものの、米国株の上昇に主導され欧州株も堅調に推移。月末にかけては米株乱調に連れ欧州株も急落、主要株価指数は北欧を除いて前月末比マイナスで月を終えた。行動制限の長期化により景気見通しの不透明感が高まっているものの、業績見通しの改善と低金利環境の長期化が下支えとなって、欧州株は底堅い展開を見込む。

新興国株式：米国株上昇に連れ新興国株も月初より堅調に推移。半ば以降も半導体を中心に東アジア市場主導で新興国株は大幅高となったが、月末にかけては米国株急落に連れて新興国株も下落した。前月末比では、大手テクノロジー銘柄中心に韓国、台湾が上昇し、ブラジル、インドが下落。短期的な調整局面はあろうが、世界的な景気回復期待と緩和継続が下支え、新興国株は上昇基調を維持する見通し。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

債券

プラス要因
- 主要中銀による金融緩和の長期化/追加緩和
- 新型コロナ感染拡大による行動規制強化と景況悪化
- インフレ圧力の抑制

マイナス要因
- 大規模経済対策に伴う財政悪化/国債増発
- 早期経済正常化の実現
- 早期テーパリング論の高まり

	2021/1/29	過去1か月	3か月	年初来
（国債利回り）	(利回り %)		(利回り騰落幅)	
米国国債10年	1.07	0.15	0.19	0.15
カナダ国債10年	0.89	0.21	0.23	0.21
ドイツ国債10年	-0.52	0.05	0.11	0.05
英国国債10年	0.33	0.13	0.07	0.13
フランス国債10年	-0.28	0.06	0.06	0.06
オーストラリア国債10年	1.13	0.16	0.30	0.16
日本国債10年	0.05	0.03	0.01	0.03
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		-1.71%	1.99%	-1.71%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+1.05	+0.03	-0.30	+0.03
USDハイイールド社債_トータルリターン		0.33%	6.26%	0.33%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+3.62	+0.02	-1.47	+0.02

※対米国債スプレッドとは米国債との利回り格差

日本国債：国債増発懸念から利回りが上昇した米国債に連れ、日本国債利回りも上昇基調をたどった。緊急事態宣言発令による景気悪化懸念が国内金利の上昇を抑制したが、米株主導で世界的な株高が進む中、リスク選好の高まりにより国債利回りは月後半も上昇した。3月会合で予定される日銀の金融政策点検を控え様子見姿勢が強まり、目先、レンジ内での推移を見込む。

米国債：追加経済対策による国債増発懸念から米国債利回りは上昇基調、米国株の高値更新も国債売り材料となった。月末にかけては、株式市場の混乱を受けたリスク選好の後退から利回りはやや低下。緩和長期化観測が米国債を下支えする状況は継続するものの、ワクチン普及と追加景気対策による経済活動正常化期待、また、国債増発懸念が金利上昇要因となって、米国債はレンジ内の推移を見込む。

欧州債：米国債利回りの上昇に連れ欧州国債も売られたものの、行動制限の強化や延長による景況感悪化と、積極的な緩和長期化を背景に利回り上昇は限定的。政局不安でイタリア国債は売られ、ドイツとのスプレッドは拡大した。また、マイナス金利に否定的なBOE総裁コメントで、英国債利回りも上昇。ECBの緩和長期化により「良好な金融環境」は維持され、欧州国債利回りは低位安定推移の見通し。

新興国ドル建て国債：基準となる米国債利回りが上昇し、新興国ドル建て国債利回りも月初より上昇基調をたどったが、月央以降は米国債に連れ利回りは低下に向かった。メキシコ、ブラジル、コロンビア、アルゼンチンなど中南米諸国のドル建て国債が特に売られた。世界的に超低金利環境が続く中、高利回りを狙う資金フローが新興国国債の下支えとなる見込み。

通貨等

米ドル プラス要因
- 新型コロナ早期収束見通しと景況感の改善
- 実体経済の回復を伴う米長期金利の上昇
- 早期テーパリング懸念

米ドル マイナス要因
- 感染拡大による米国内の行動規制強化
- FRBによる量的緩和の拡大
- バイデン政権の政策リスク

	2021/1/29	過去1か月	3か月	年初来
DXY	90.58	0.72%	-3.67%	0.72%
EUR	1.2136	-0.65%	4.20%	-0.65%
GBP	1.3708	0.28%	5.88%	0.28%
AUD	0.7644	-0.65%	8.76%	-0.65%
USDJPY	104.68	1.38%	0.02%	1.38%
EURJPY	127.13	0.75%	4.26%	0.75%
CRB指数	174.20	3.82%	20.36%	3.82%
WTI原油	52.20	7.58%	45.85%	7.58%
CMX金先物	1,847.30	-2.52%	-1.73%	-2.52%
VIX*	33.09	+10.34	-4.93	+10.34

*期間騰落は変化幅

米ドル：予想外の「トリプルブルー」実現により大型財政出動が期待される中、米金利の上昇を受け米ドルは主要通貨に対して上昇基調に転じた。ドル円レートは月初103円割れまで下落したが、その後104円台まで反発し、月末にかけては一段高。緩やかなドル安・円高の見通しは維持するものの、米金利の上昇リスクから短期的には米ドルが底堅い値動きとなる見通し。

ユーロ：バイデン新政権による大型追加経済対策への期待から米ドルが買い戻され、また、コロナ変異種の感染拡大やイタリアの政局が売り材料となって、ユーロは対ドルで下落基調をたどった。米国との景況格差から目先ユーロ高の調整が続く見通しだが、ECBの追加緩和観測は後退しつつあり、ワクチン普及と感染収束期待に下支えされてユーロの下値リスクも限定的。

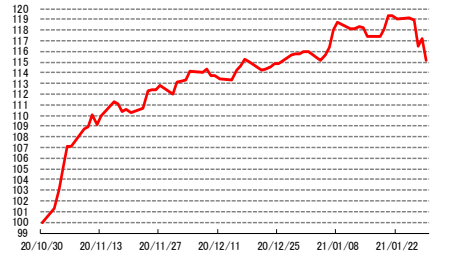
原油：OPECプラスによる供給抑制合意を受け原油価格は上昇して始まり、米バイデン政権の大型経済対策への期待感が追い風となって、中旬にかけ一段高。その後は、新型コロナウイルス変異種の感染拡大への警戒感から、月末にかけ上値の重い展開となった。経済活動正常化の期待が原油市況の下支えとなろうが、価格上昇による供給増が上値を抑え、方向感の出にくいレンジ取引を想定する。

金：株価急落を受け金価格は月初上昇したものの、米国債利回り上昇で売り圧力が強まったほか、経済活動正常化期待からリスク選好が高まりその後は軟調に推移。月末にかけては、長期金利の上昇一服と株式市場の混乱を受け底堅い値動きとなった。実質金利の上昇やドル安反転が金の上値抑制要因となるが、足元の株式市況の混乱を受け金への需要は根強く、下落リスクも限定的。

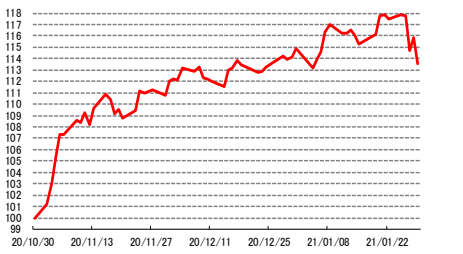
appendix

株式

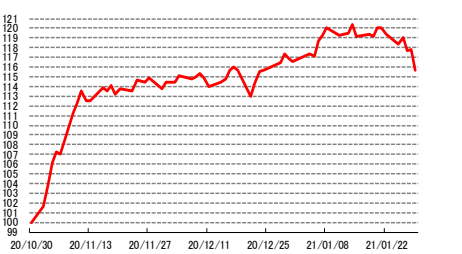
1. MSCI World　株式
終値: 8,623.73　期間騰落率: +15.11%　USD



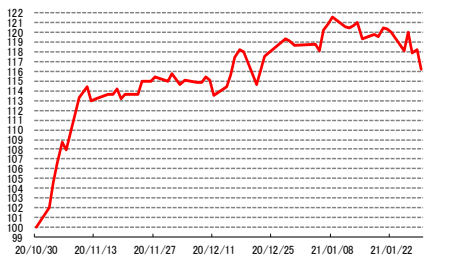
2. S&P500　株式
終値: 3,714.24　期間騰落率: +13.59%　USD



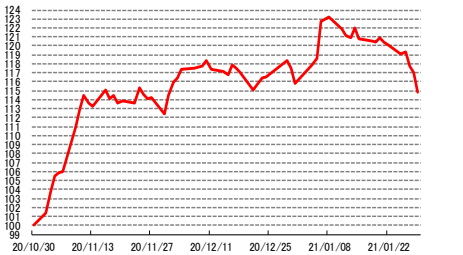
3. STOXX欧州600　株式
終値: 395.85　期間騰落率: +15.62%　EUR



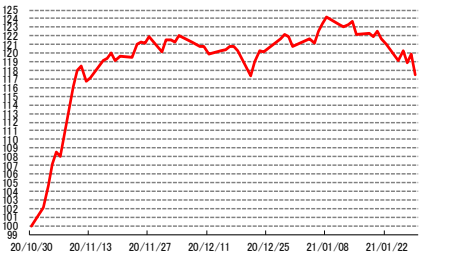
4. 独DAX　株式
終値: 13,432.87　期間騰落率: +16.24%　EUR



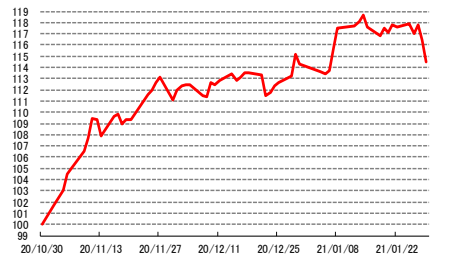
5. 英FTSE100　株式
終値: 6,407.46　期間騰落率: +14.89%　GBP



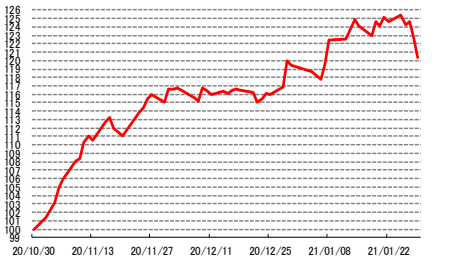
6. 仏CAC40　株式
終値: 5,399.21　期間騰落率: +17.52%　EUR



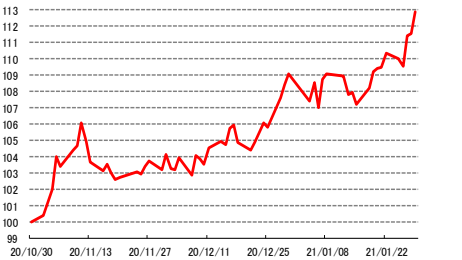
7. TOPIX　株式
終値: 1,808.78　期間騰落率: +14.53%　JPY



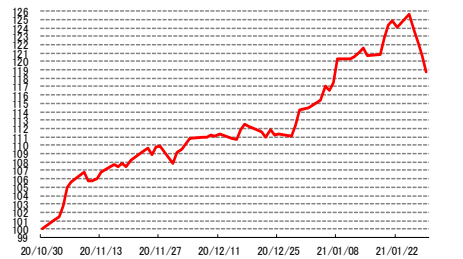
8. 日経平均株価　株式
終値: 27,663.39　期間騰落率: +20.40%　JPY



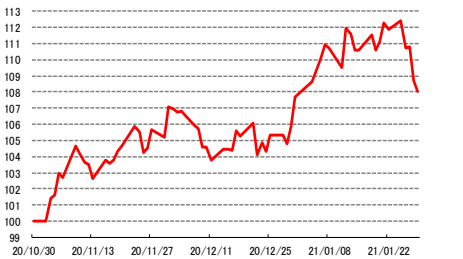
9. 東証REIT指数　株式
終値: 1,846.41　期間騰落率: +12.91%　JPY



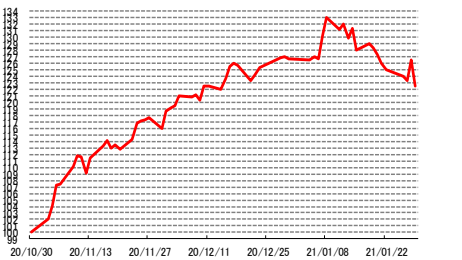
10. MSCIエマージング　株式
終値: 176,690.00　期間騰落率: +18.75%　USD



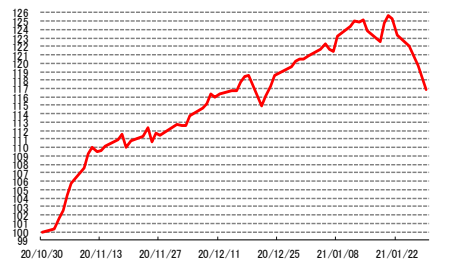
11. 中国 上海総合指数　株式
終値: 3,483.07　期間騰落率: +8.02%　CNY



12. ブラジルボベスパ指数　株式
終値: 115,067.60　期間騰落率: +22.47%　BRL



13. インドSENSEX30　株式
終値: 46,285.77　期間騰落率: +16.84%　INR

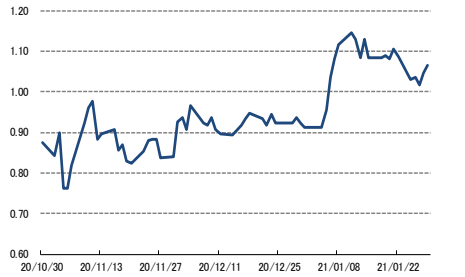


※ 直近3カ月（2020年11月～2021年1月）の日足チャートです。起点（2020年10月末日）を100として指数化しています。
※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

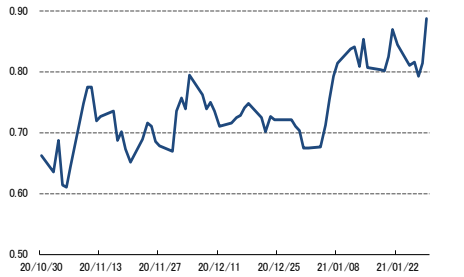
appendix

債券

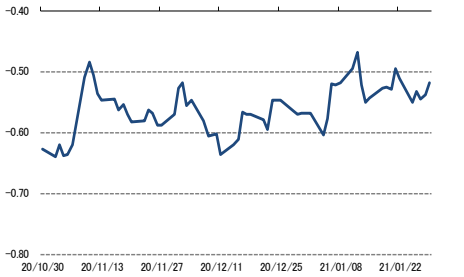
14. 米国国債10年利回り　債券
終値: 1.07　期間騰落幅: 0.19　（実数値ベース）　USD



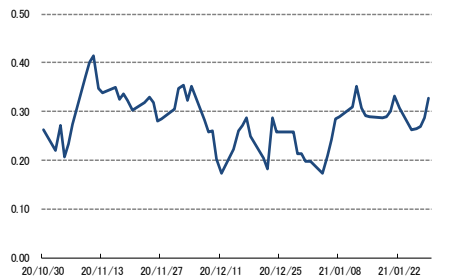
15. カナダ国債10年利回り　債券
終値: 0.89　期間騰落幅: 0.23　（実数値ベース）　CAD



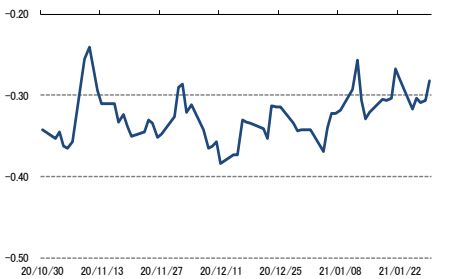
16. ドイツ国債10年利回り　債券
終値: -0.52　期間騰落幅: 0.11　（実数値ベース）　EUR



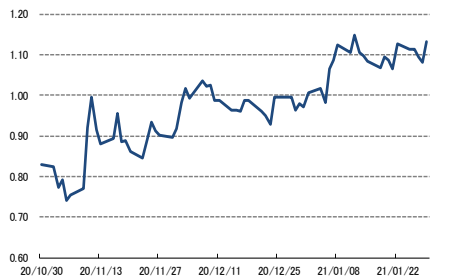
17. 英国国債10年利回り　債券
終値: 0.33　期間騰落幅: 0.07　（実数値ベース）　GBP



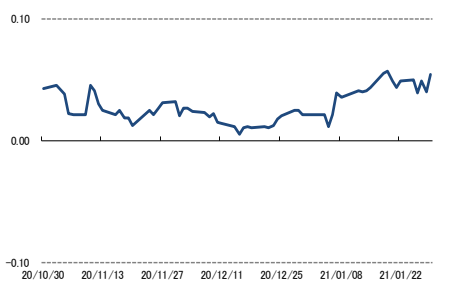
18. フランス国債10年利回り　債券
終値: -0.28　期間騰落幅: 0.06　（実数値ベース）　EUR



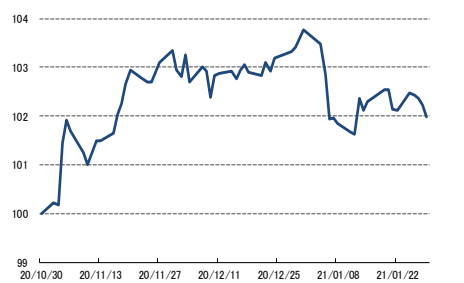
19. オーストラリア国債10年利回り　債券
終値: 1.13　期間騰落幅: 0.31　（実数値ベース）　AUD



20. 日本国債10年利回り　債券
終値: 0.05　期間騰落幅: 0.01　（実数値ベース）　JPY



21. USD投資適格社債_トータルリターン　債券
終値: 194.23　期間騰落率: +1.99%　USD



22. USD投資適格社債_対米国債スプレッド　債券
終値: 1.05　期間騰落幅: -0.30　（実数値ベース）　USD

23. USDハイイールド社債_トータルリターン　債券
終値: 2,345.78　期間騰落率: +6.26%　USD

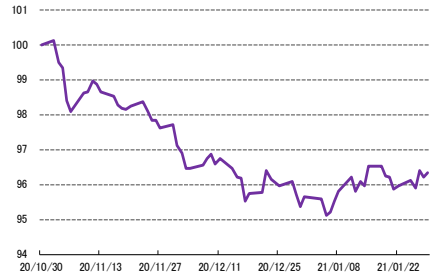
24. USDハイイールド社債_対米国債スプレッド　債券
終値: 3.62　期間騰落幅: -1.47　（実数値ベース）　USD

※ 直近3カ月（2020年11月～2021年1月）の日足チャートです。起点（2020年10月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

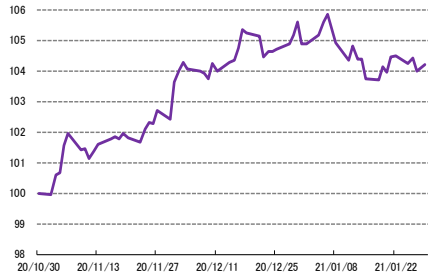
appendix

為替/コモディティ/VIX

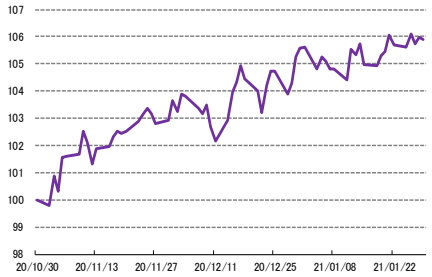
25. DXY 為替
終値: 90.58 期間騰落率: -3.67% USD



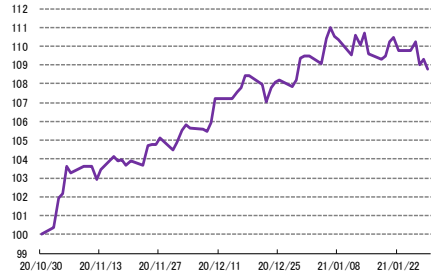
26. EUR 為替
終値: 1.21 期間騰落率: +4.20% EUR



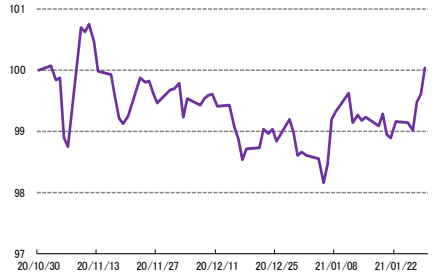
27. GBP 為替
終値: 1.37 期間騰落率: +5.88% GBP



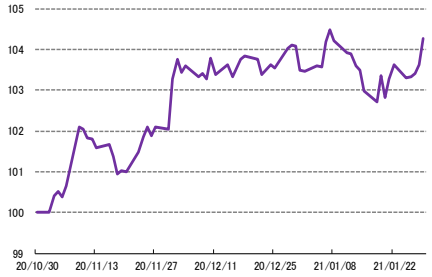
28. AUD 為替
終値: 0.76 期間騰落率: +8.76% AUD



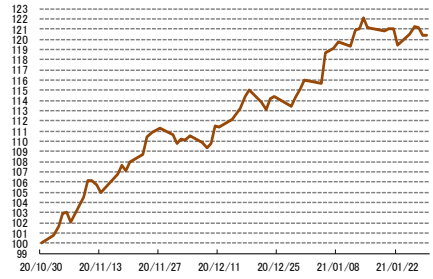
29. USDJPY 為替
終値: 104.68 期間騰落率: +0.02% JPY



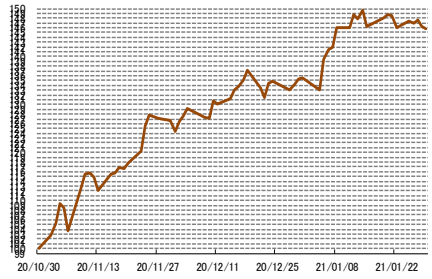
30. EURJPY 為替
終値: 127.13 期間騰落率: +4.26% JPY



31. CRB指数 コモディティ
終値: 174.20 期間騰落率: +20.36% USD

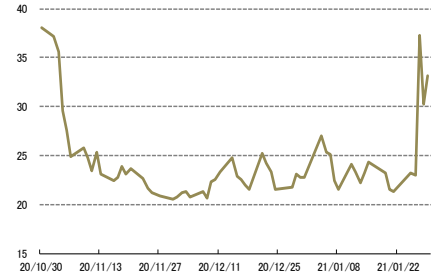


32. WTI原油 コモディティ
終値: 52.20 期間騰落率: +45.85% USD



33. CMX金先物 コモディティ
終値: 1,847.30 期間騰落率: -1.73% USD

34. VIX VIX
終値: 33.09 期間騰落幅: -4.93 (実数値ベース) USD



※ 直近3カ月（2020年11月～2021年1月）の日足チャートです。起点（2020年10月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社※が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。
※2021年3月8日付で商号を「PayPayアセットマネジメント株式会社」に変更する予定です。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

【株式】
MSCI World：MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス、S&P500：S&P500種株価指数、STOXX欧州600：STOXX Europe 600種株価指数、独DAX：ドイツDAX指数、英FTSE100：イギリスFTSE100指数、仏CAC40：フランスCAC40指数、TOPIX：東証株価指数、MSCIエマージング：MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数：中国 上海総合指数(Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数：ブラジル ボベスパ指数（Ibovespa Index）、インドSENSEX30：S&P BSEセンセックス指数（S&P BSE Sensex Index）

【債券】
USD投資適格社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

【為替等】
DXY：米ドル・インデックス、EUR：ユーロ/米ドル 為替スポット、GBP：英ポンド/米ドル 為替スポット、AUD：オーストラリアドル/米ドル 為替スポット、USDJPY：米ドル/円 為替スポット、EURJPY：ユーロ/円 為替スポット、WTI原油：WTI原油先物価格1番限、CMX金先物：COMEX金先物価格1番限、VIX：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所：ブルームバーグ